

県政

だより

# あ 新 き た 時 代

第3回北東北知事サミット  
コンピュータ西暦2000年問題

TOPICS 北から南から  
登場 秋田の元気人  
イベントあれこれ  
春夏秋冬こぼれ話  
秋田県からのお知らせ

2  
5  
6  
7  
7  
7  
8

'99年度  
vol.8

平成11年11月25日発行(第50号)

[ 全戸配布広報紙 ]

編集・発行 / 秋田県広報課  
〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

TEL 018-860-1073

「県政だより」は県内全世帯  
にお届けしています。ご近所で  
未着の方がございましたら、市  
町村広報担当課または県広報  
課までお知らせください。  
ご感想をお寄せください。

# 情報ネットワークによる産業連携を目指して 第3回北東北知事サミット



秋田、青森、岩手の三県の知事が意見交換を行う第3回北東北知事サミットが10月13日、田沢町の「たざわこ芸術村」で開かれました。

「情報と産業」をテーマに寺田典城秋田県知事、木村守男青森県知事、増田寛也岩手県知事が三菱商事副社長の相原宏徳氏、東京大学法学部長の佐々木毅氏、メディア・プロデューサーの残間里江子氏、県高度技術研究所長の大内一弘氏をゲストに迎え、21世紀の地域産業の発展を目指した情報ネットワークによる相互連携について意見を交換しました。

## 意見交換「情報と産業」

### 寺田 各県が連携を深めて地域の発展を

・秋田県では来年4月に防災から医療などすべての面を含めた総合情報センターを開設する。情報機器の発達やコンピュータ化により社会の変革が進む中で、北東北三県が情報化を通じてどのような形で雇用を含め新たな社会、新たな時代に持っていけるかというところに、大きな関心を持っている。

・情報化時代の中で、他県のすぐれた分野をお互いに利用できるような関係が三県で構築されても良いのではないかと思う。また、産業界はグローバルで動いており、行政として何をすべきか、連携とか情報の交換など相互関係の活用が問われている。

・これからの情報化時代にあっては各県がより連携を深めて地域の発展につなげていこうという趣旨はお互いに理解できたと思う。経済の発展や雇用の拡大などいろいろな面で北東北三県の連携による可能性を追求していきたい。

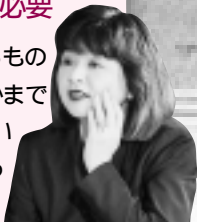


### 残間 情報を読みとる能力の養成が必要

・情報の中身について、人々に訴えかけるものが弱いのではないか。また、何を伝えるかまではできてもそれをどういうふうに見せていくかというテレビと電話と雑誌に近いような感性がミックスされたような手法がまだ発揮されていないのではないかという気がする。

北東北三県がただ連携するだけではなく、もう少し全国レベル、世界レベルでインパクトのある何か共通のものを発信することが必要ではないか。

・情報化時代にあっては、情報が何を伝えようとしているのか読みとる能力を養うことが必要。



### 大内 研究所や大学が新産業興しの仲介役に

・秋田県のガラス基盤の研磨技術や岩手県の半導体洗浄技術、青森県の真空装置の技術などをリンクさせて新産業を興すことが十分に考えられる。その場合、企業秘密という壁があるが、研究所や大学を仲介役として情報のやりとりがスムーズにできる。

・真の情報化社会になるためには子どものときからインターネットのモラルを教え込むことからスタートする必要がある。

また、北東北三県が共同で何をやりたいのか明確にし、その上で情報ツールを使うという認識が必要。

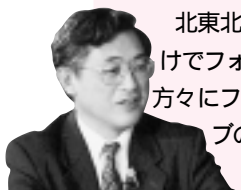


## 佐々木 フェイス・ツウ・フェイスが人間の能力を高める

・三県の知事がこういうサミットをやるのもある意味で世の中の変わり目の一つの象徴。中央と各県がただつながっていればよいという時代ではなくなっている。

北東北三県の可能性について、県庁の中でだけでフォローアップするのではなく、回りの方々にフォローアップしていただくようなサブの形の仕組みが必要ではないか。

・情報化時代にあっても本当に人間同士が能力を高め合うのは、フェイス・ツウ・フェイスのとき。情報インフラを整備することも大切だが、意欲と情熱を持った若い人たちが直接触れ合う場を同時並行的に設けることが必要ではないか。



## 木村 広域的基盤に立った市場情報や戦略を

・平成9年に策定した新青森県長期総合プランの中で情報通信ネットワークをはじめとする情報交流拠点づくりを推進している。

また、情報化時代に向けたひとつづくりとして、今年度から「青少年の科学する心」を県行政の柱にうち立てている。

・人口の問題や財政の問題、情報化を視点に入れば市町村は合併せざるを得ない時代認識に行き着く。選ぶのは住民だが方向性としては30万都市構想ぐらいの合併を話し合う必要性があるのではないか。

・電子商取引は三県だけではなく国内、あるいは世界との結びつきにつながる。農業面でも東北六県の食料自給率は国内に貢献しており、流通で必要以上の競争をしないで広域的な基盤に立った市場情報、戦略を生かし合っていきたい。



## 相原 インターネットのメリットは使い方次第

・インターネットの普及とともに新しいビジネスがいろいろと出てきている。また、インターネットを会社運営にどう結びつけていくのか、情報システムを使うことによって会議を減らすなど会社の文化を変えていかなければならない。自治体でも情報化のメリットを生み出すための変革が必要。

・個性ある情報発信をすれば産業誘致や観光産業の振興等につながる。また、データベースの整理により県民の情報に対する認識も高まる。



## 増田 県民との情報の共有で行政が変わる

・岩手県では医療ネットワークのほか、教育や災害面での情報化や情報供給設備として岩手情報ハイウェイの整備を進めている。

・情報を県民と共有できれば明確かつ合理的な行政になり、それがいずれは県民とのやりとりに発展し文化や慣習を変える可能性につながる。県の試験研究機関や大学の地域共同センターなどが頭脳となって新しい部品の開発などに結びつく体制を三県

のネットワークで組むことができれば全体的に工業の質を上げていくことにつながる。

・行政の最終的な目標は、県民に対するサービスをいかに向上させるかということ。広域的な対応が必要なところは両県の知事と相談しながら積極的に進めたい。



# 「第3回北東北知事サミット」合意事項

今回の意見交換を踏まえ、三県知事で話し合った結果、知事サミットの成果として次の事項が合意されるとともに、北東北広域連携構想が発表されました。

21世紀に向けた本地域産業の発展基盤の形成を図るため、次の3点を柱とする施策を推進します。また、その推進母体として三県で構成する「北東北産業情報化推進会議」を設置します。

## 1 情報化による地域産業の活性化

(1)「みちのくバーチャル・エキスポ(夢空間博覧会2001)」の開催  
北東北連携の情報発信イベントとして、インターネットのホームページを利用した三県主催によるバーチャル・エキスポを2001年度に行います。

### (2)「みちのく夢ネット」の構築

「みちのくバーチャル・エキスポ」の成果物を活用し、地域の紹介や産業情報、観光情報等各種データベース検索、電子ショッピング等のサービスを提供します。

## 2 北東北産学官ネットワークの形成

北東北三県の大学、公設試験研究機関、民間企業間の情報ネットワークの構築、また、産学官連携による共同研究の推進や新事業創出の促進等を図ります。

## 3 情報通信基盤とひとつづくり

### (1)情報ハイウェイの整備促進

北東北における高度情報化を推進するため、行政、医療、介護、教育、商取引等多様なサービスを提供する大容量情報通信基盤整備の促進を図ります。

### (2)高度情報社会に対応したひとつづくり

一般向けのパソコンやインターネット教材の作成などのほか、急速な技術革新に対応できる情報処理能力の高い人材を育成します。

# 北東北広域連携構想

## めぐみめぐる北東北 ～人と自然との共生をめざして～

今回のサミットで最終的に合意・発表された構想では、北東北三県の交流・連携に取り組む際の活用を図るために、7つの分野で186の施策例が提示されています。

### 目標年次

平成20年(2008年)

### 基本姿勢

信頼尊敬に基づく互恵型の交流・連携  
(ギブ・アンド・ギブ)

### 資源循環型社会の形成

- ・三県の率先行動(ISO14001認証取得にむけた検討・調査等)
- ・地域新エネルギー利用事業化に関する共同調査
- ・「緑のランドデザイン」の策定  
など36例

### 地域資源型産業の展開

- ・健康食材づくりにむけた共同基礎調査等の検討
- ・健康農産物に関する統一ブランドづくりの検討
- ・「北東北グリーンツーリズム推進研究会」の開催  
など13例

### 新産業創出基盤の形成

- ・北海道、首都圏、関西圏(大阪、名古屋)等への合同事務所の開設
- ・「北東北産業情報ライブラリー」の開設
- ・「北東北マイスター制度」の創設  
など30例

### 北東北文化観光の新興

- ・「もう一つの日本・北東北」キャンペーンの展開
- ・北東北観光ルートの設定とPR
- ・北東北国際観光テーマ地区推進協議会が推進する事業への支援・協力  
など24例

### 人と自然との共生 (多自然共生社会)

### 快適生活の創出

- ・「北東北ロマン回廊」の設定と活用
- ・北東北学の構築にむけた仕組みの検討
- ・「北東北地域づくりキーパーソン交流促進事業」の創設
- ・「北東北環境モニター会議」の開催
- ・遠隔医療、病院連携、救急医療、地域医療等への共同取り組み  
など43例

### 持続的な発展が可能 (持続発展共有社会)

### 広域連携方策の 施策体系

### 研究開発ネットワークの構築

- ・「北東北産学官ネットワーク」の形成
- ・「北東北研究開発情報ライブラリー」の構築
- ・地球環境問題に関する調査・研究(酸性雨データマップの作成等)  
など30例

### 生活の美を共に創る (生活美共創社会)

### 情報活力空間の形成

- ・「北東北バーチャル・エキスポ『夢空間博覧会2001』」の開催
- ・「みちのく夢ネット」の開設
- ・「北東北産業情報化推進会議」の設置  
など10例



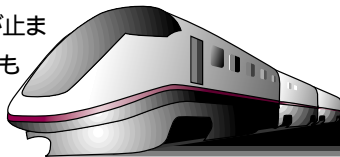
# コンピュータ西暦2000年 問題への準備は 万全ですか？

私たちの生活の中で欠かせないものになっているコンピュータが、1999年末から2000年にかけて誤作動を起こす可能性が指摘されている西暦2000年問題。その西暦2000年まで残すところ1カ月余りとなりました。各ご家庭での2000年問題への準備も忘れずをお願いします。

## 2000年になると 電気や電車が止まるのですか？

2000年問題が提起された当初は、このような心配がされていましたが、国や県、市町村及び金融、エネルギー、情報通信、運輸、医療等に係わる企業などが総力をあげて対策に取り組んできた結果、今年中に全ての対応が終わる予定であり、皆様の生活に大きな影響はないものと思われます。

しかし、万一電気などが止まった場合に備え、ご家庭でも最小限度の準備をしておくようにしてください。



## 何を準備しておけばよいのですか？

食料、飲料水については3日分程度の備蓄、年越し費用を含めた現金の準備、年末には通帳の記帳、適切な量の灯油の確保、自動車のガソリンを満タンにする、常備薬をチェックするなどのほか、地震や火事、台風などの一般の災害への備えを点検されることをお奨めします。また、家族や問い合わせ先などの連絡先も明らかにしておきましょう。

## わからないことは、 どこへ聞けばよいのですか？

県では、年末年始期間中も問い合わせ窓口を開設して対応にあたりるとともに、ホームページでも情報を提供します。わからないことは遠慮なくお問い合わせください。

## 準備しておきたいもの

水	3日分の飲料水（1日1人3リットル）。風呂には水を張っておく。
食料	3日分の食料（カップ麺、缶詰、レトルト食品など）。火を使わなくても食べられるものが便利
調理器具	卓上ガスコンロ（予備ボンベを準備）など
暖房	石油ストーブ（電気を使わないもの）、灯油
移動手段	自動車のガソリンを満タンに
生活費	現金、通帳（年末に記帳）、印鑑、身分証明書（健康保険証など）
その他	ラジオ、懐中電灯、ろうそく、携帯電話、乾電池、救急用品、常備薬など

## 注意すること

何が起こっても冷静に行動するとともに、ラジオやテレビなどの情報に注意しましょう。
2000年問題に便乗して、必要のない物品を販売するなどの悪質商法等に十分注意してください。
年末年始は、通信の混雑を避けるため、大切な用件以外の電話は控えるようにしましょう。

## 2000年問題対策本部事務局 (県情報統計課情報システム開発室)

TEL 018-860-1271  
0120-622278 (フリーダイヤル)  
12月29日から1月3日まで開設

FAX 018-860-1252  
Eメール y2k@pref.akita.jp  
URL <http://www.pref.akita.jp/2000/>

## 年末年始窓口開設時間

12月29日、30日は午前8時30分から午後5時15分まで、  
12月31日午前8時30分から1月4日午後5時15分までは、  
24時間対応にあたります。



## あんな声 こんな声

### 問 雪と遊ぶ体験ツアーの企画について

かんじきを履いたり、かまくらを作ったり、囲炉裏を囲んで昔話を聞いたりといった、冬の秋田を体験するツアーを企画してはどうでしょうか。（「県政プロポーザー会議」より）

答：県では、秋田ならではの四季折々の体験型ツアー「秋田花まるっ倶楽部」を企画し、旅行代理店に商品化を働きかけ、試験的な商品の販売を進めています。また首都圏において、11/3～7まで冬の魅力観光展の開催やキャンペーンを実施したほか、隣県のタウン情報誌と提携して冬の魅力の情報発信を行います。

### 問 九州の焼き物と秋田の酒のタイアップについて

福岡市に北東北三県で設置している「みちのく夢プラザ」などを活用して、九州の有田焼や伊万里焼などの有名な焼き物に秋田の酒を入れて販売したらどうでしょうか。（「県政プロポーザー会議」より）

答：輸送費等の経費など現状での課題は多くありますが、関係団体と連絡をとりながら、商品化を目指す企業が現れた場合は、「みちのく夢プラザ」を含めた販路開拓等の支援を行っていきます。

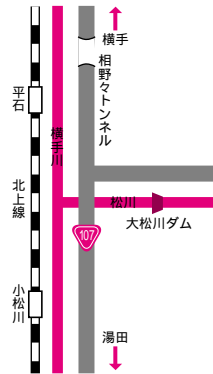
# TOPICS

北から南から

## 「大松川ダム」竣工

県が平鹿郡山内村大松川地区で建設を進めていた大松川ダムがこのほど完成し、10月7日に竣工式が行われました。横手川の支流、松川に建設された大松川ダムは、河川環境の保全や水道用水及びかんがい用水の供給、発電などを目的とする多目的ダムです。

現在、ダムの上流側には青空教室ゾーンが整備中で、平成12年度には自然型公園として、水遊びのできる副ダムや芝桜の中の遊歩道などが整備されるほか、キャンプ等にも利用でき、周辺住民のいきい場となることが期待されています。



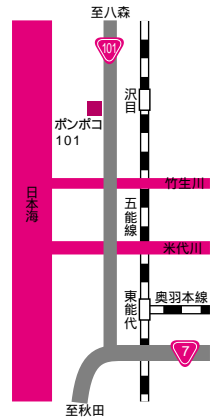
## 道の駅「みねはま」オープン

峰浜村の国道101号沿いに県内で15番目の道の駅「みねはま」(愛称「ボンポコ101」)がこのほど完成し、10月14日に開所式が行われました。

「ぼんぽこ101」は、能代市から国道101号を北上して車で約10分、青森県との県境まで約30分の場所にあります。

「ボンポコ101」の愛称は、隣接する公園・交流施設「ポ

ンポコ山」と国道101号から名付けられたもので、施設内の街灯のデザインには、ボンポコ山にちなんでタヌキのモチーフが取り入れられています。



## 「秋田県女性議会」開催

第2回「秋田県女性議会」が10月26日に県庁で開催され、公募によって選ばれた県内在住の女性45人が一日議員として出席しました。

議員証の授与などに続いて行われた本会議では、議員の選考基準となった論文で、最優秀賞などを受賞した3人が論文を発表しました。

福祉・保健など5つの委員会に分かれて、議員と県の部・課長が活発な意見交換を行った後、再び開かれた本会議で、「男女とも幸せに生きる秋田県」の実現に向けて、議員が意欲的に行動することを誓う宣言が採択されました。



「昔は木箱で、一箱に十疋。この船は一回の網起こしで二百箱分の八タハタを積んできたもんです。最盛期には夜通し網を起こすもんだが、それはもう…」と庄内さんは当時を懐かしむ。

一箱十疋で二百箱とは、約二、。それに八人の漁師が乗り、シケの海で操業していたというから驚きた。

「八タハタの建網(小型定置網)は、やっぱり木船が使いやすいな。漁が終われば真水でしっかり洗って小屋にしまつ。そうすれば何十年って使えるもんだ」

県民待望の季節八タハタ漁がまもなく始まる。庄内さんいわく、「今年の八タハタは期待できそつだ」。

師が木造船の利点を教えてくれた。今年も、もう少して季節八タハタ漁が始まる。漁協で木造船の所有者の一人、庄内賢作さん(右)を紹介してもらった。

「この船は長さ三〇〇尺(約九・三メートル)幅は最も広いところで六尺(約一・八メートル)。昭和三十八年に地元の船大工に造ってもらったもんです。確か三十四万円だったと思います」と庄内さん。



# イベントあれこれ

## 第15回エランカップGSLスキー大会

スキーシーズンの幕開けを飾る県内最初のスキー大会。緩やかなコースで、子どもから大人まで参加できます。

開催日 12月26日(日)

場所 鳥海高原矢島スキー場

参加料 小・中学生1900円、高校生2200円、大人2400円

申込締切 12月7日(火)

応募・問い合わせ先 矢島町商工観光課

TEL 0184-55-4953

## おものがわ流域ふれあい道中スタンプラリー第三幕

雄物川流域の28市町村では、楽しみながら市町村内の温泉や文化施設を訪れてもらおうと、賞品付きのスタンプラリーを実施しています。大曲・仙北地域をまわる「おばこめぐり」、横手・平鹿地域をまわる「イデハめぐり」、湯沢・雄勝地域をまわる「雄湯郷めぐり」など5コースがあります。

実施期限 平成12年2月29日(火)

問い合わせ先 横手市政策調整課

TEL 0182-32-2111(内線363)

## 秋田県北部エリア四季の自然フォトコンテスト

「県北部エリアの自然風景」を題材にした風景写真を募集しています。

北部エリア...鹿角市、小坂町、大館市、北秋田郡、能代市、山本郡、南秋田郡

出品規定 平成11年3月～平成12年3月までに撮影した未発表作品

四ツ切プリント(組写真、ワイド四ツ切プリントは不可)

応募締切 平成12年3月22日(水)必着

賞 グランプリ1点、四季賞各1点ほか

応募・問い合わせ先 大館能代空港利用促進協議会

TEL 0186-49-3111

## 知っておきたいクーリング・オフ!

電話勧誘販売や訪問販売などで契約した後、「しまった」と感じたら、クーリング・オフ(契約してから8日間以内であれば無条件で解約できる制度)ができます。

クーリング・オフ期間を過ぎてても、トラブルを解決できる場合がありますので、お気軽にご相談ください。

県生活センター 相談専用電話 018-835-0999

受付時間 月曜日～金曜日 午前9時～午後4時

# 登場

# 秋田の元気人

八森町・はちもり観光市組合長

工藤嘉正さん(68)

昔から漁業が盛んな八森町では、八森と岩館の二つの漁港で四季折々の新鮮な魚介類が水揚げされます。毎週土・日に開かれる「はちもり観光市」では、これらの新鮮な魚介類を中心に販売しており、町内外からの多くの買い物客で賑わっています。

平成6年から、この「観光市」の3代目組合長をしている工藤嘉正さんは、「現在、16店舗が出店しているが、売り上げは土・日だけで年商3億円ぐらゐと安定している。最近、大型店の進出等の影響が、売り上げが伸び悩んでいるが、これからも『観光市』で消費者の皆さんに喜ばれるような八森町の新鮮な魚介類等をたくさん提供して行きたい」と今後の抱負を話してくれました。

何事にも一生懸命に取り組む工藤さんは、「若い頃は、趣味の写真で毎月欠かさず雑誌に応募したり、40代の頃にはボーリングに熱中し、朝出勤前と帰宅後毎日のように練習し、ついにパーフェクトの300点を1回、290点を1回達成しました」などの逸話を語ってくれました。

4年前前に再開した趣味の写真では、数々のコンテストに入賞しているほか、県展でも入選するなどその腕前は広く知られています。

今後、自分の町に関係した写真を撮り続け、写真集でも出したいと言う工藤さん。これからも「観光市組合長」として、また「地域の写真家」として奮闘が続くことでしょう。



「ここは漁場が近いし岩場も多いもんだが、やっぱり木船がいいな。これは浮力があるから八タ八タもいっぺ積めるし、波にも強い。それにスクリューがねえがら網にもからまらねえしな」と、漁

去年の十一月九日夜、八森町岩館漁港で昔ながらの八タ八タ漁を見た。それは今では珍しい木造船に八人の漁師が乗り込み、船べりぎりぎりまで八タ八タを満載、「オツ、オツ、オツ」の掛け声と共にカイをこぎ、港を目指していた。明かりは八人の頭につけられたヘッドランプだけで、それが波間に揺れる。船は八タ八タを陸揚げするや、再び夜の海へこぎ出して行った。



# 春夏秋冬 こぼれ話

文 小西一三 絵 小西由紀子

シリーズ⑧今も現役で活躍する  
八タ八タ漁の木造船



# 秋 田 県 か ら の お 知 ら せ

## 県政情報資料室からのお知らせ

このたび、県政情報資料室が県庁第二庁舎に移転することにもない、その作業のため一時閉室しますので、行政資料の閲覧・貸出の業務は行いません。なお、閉室期間中のその他の業務は情報公開室において行います。

閉室期間 平成11年12月28日(火)～平成12年1月10日(月)  
1月11日(火)から新所在地で業務を再開します。

(新所在地：秋田市山王三丁目1-1県庁第二庁舎1階)

問い合わせ先 県行政改革推進課情報公開室TEL018-860-1091

## 乳幼児突然死症候群(SIDS)から赤ちゃんを守りましょう

乳幼児突然死症候群は、それまで元気に育っていた赤ちゃんが、眠っている間に突然死亡してしまう病気です。

この病気から赤ちゃんを守るために、次のことに留意しましょう。

- ・赤ちゃんは仰向け寝で育てましょう。
- ・妊娠中や赤ちゃんの周囲では、たばこはやめましょう。
- ・できるだけ母乳で育てましょう。

問い合わせ先 県保健衛生課TEL018-860-1426

## 食品、添加物等の年末一斉取締りについて

年末から年始にかけては、多くの食品が短期間に大量に流通します。この時期の食中毒の発生防止及び食品衛生の向上を図るため、保健所の食品衛生監視員が食品関係営業施設に立ち入り、監視指導を実施します。ご家庭でも食品の衛生に気を付けましょう。

期間 平成11年12月1日(水)～12月28日(火)

問い合わせ先 県環境衛生課TEL018-860-1593  
または最寄りの保健所

## 「冬休み親子森林教室」の参加者を募集します

かんじき体験や冬山観察、木の工作づくりなど「森の案内人」と楽しく森林を学びましょう。

開催日程 平成12年1月7日(金)・8日(土)

1月8日(土)・9日(日)の2回開催

場所 河辺町森林学習交流館ブラザクリプトン

参加費 親子2人で1万円

問い合わせ先 森林学習交流館ブラザクリプトン  
TEL018-882-5009

## 「高校生に職場を、仕事を、求人」

来春卒の高校生を対象とした求人が不足しています。県人口が減少している中、若者の県内定着は、企業の活力や地域活性化につながる重要な課題です。求人票は各ハローワークで受け付けておりますので、事業主の皆様には、今一度高校生の採用についてご検討いただき、求人枠の確保・拡大についてご協力をお願いします。

問い合わせ先 県職業安定課TEL018-860-2334

または最寄りのハローワーク

## 物品供給等業者の登録申請を受け付けます

県が物品購入等に際し行う競争入札に参加を希望する業者の登録申請を受け付けます。

申請受付期間 平成12年1月5日(水)～1月31日(月)

申請書の交付 県管財課、各地方部県民生活室、大館地区総合事務所で12月6日(月)から行います。

問い合わせ先 県管財課TEL018-860-2740

## 秋田ワールドゲームズ2001

マスコットキャラクターの愛称を募集します

応募方法 官製はがき、FAXなどに愛称および応募者の住所、氏名、年齢、職業(学年)電話番号を記入してください。1通の応募につき1作品(応募作品数に制限なし)とします。採用作品にはあきたこまち50<sup>+</sup>や秋田～東京往復ペア航空券などを贈呈します。

応募例：「兄弟」または「くん・ちゃん」

募集締め切り 平成11年12月31日(金)当日消印有効)

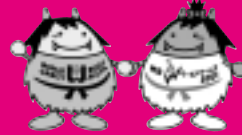
応募および問い合わせ先 〒010-0951 秋田市山王2丁目1-54

三交ビル8階(財)秋田ワールドゲームズ

2001組織委員会マスコット係

TEL 018-865-2001 FAX 018-865-2002

Eメール aoc@wg2001.or.jp



## 「冬の暮らしを安全に！」

交通安全に気を付けましょう

～年末の交通安全県民総ぐるみ運動～

年末をひかえ毎年多発する飲酒運転や、道路の凍結などによるスリップ事故を防止するため、県民総ぐるみの交通安全運動を展開します。県民の皆さん、家庭や地域、職場でこの運動に参加し、交通事故をなくしましょう。

運動期間 12月11日(土)～12月20日(月)の10日間

重点目標 飲酒運転の徹底追放・スリップによる交通事故の防止

問い合わせ先 県県民生活課TEL018-860-1542

「あぶないよ ひとりぼっちにした その火」

～冬の火災予防に努めましょう～

冬期間は、火災の発生率が高くなります。

暖房器具の安全な使用、冬囲いや積雪による避難経路の確保に十分留意して、家庭における火災予防に努めましょう。

問い合わせ先 県消防防災課TEL018-860-1567

雪崩災害に注意しましょう

あなたのまわりに雪崩災害の危険はありませんか。

12月1日から7日は雪崩防災週間です。雪崩は全国で毎年のように発生し、人命や財産を奪うなど大きな被害が生じています。家族で、地域みんなで、雪崩に気を付けましょう。

問い合わせ先 県砂防課TEL018-860-2531

または最寄りの土木事務所

## 「県政モニター」を募集しています

平成12年～13年度「県政モニター」を募集しています。あなたの意見を県政に！詳しくは、県広報課TEL018-860-1071へどうぞ。

## 県 政 ガ イ ド

### ラジオ

県庁だより ABS 11:45～11:50(月～金)

モーニングスマイル エフエム秋田 8:30～8:55(毎週土曜日)

### テレビ

テレビ県民室 ABS 11:00～11:15(毎週日曜日)

秋田花まるっ AKT 21:54～22:00(毎週日曜日)

あきた東西南北 AAB 9:30～9:45(毎週土曜日)

美の国秋田ネット URL <http://www.pref.akita.jp/>

## 北東北共同テレビ番組のお知らせ

秋田、青森、岩手の北東北三県共同でテレビ広報番組を制作・放送します。  
第3回(情報と産業編) AKT 12月18日(土) 14:00～14:30

## 表紙の写真

山内村土淵に住む中村カツさんは例年10月から11月下旬まで「いぶりがっこ」づくりを行います。作業は、密閉した小屋の中で大根を3～4日間いぶし、その後、桶に入れ塩や米糠などで丸1日漬け込みます。中村さんが作る「いぶりがっこ」は毎年約6,000本。地元のほか、仙台や首都圏などにも多く出荷しています。



県人口 1,196,054人  
男 567,717人  
女 628,337人

世帯数 389,352世帯  
(平成11年10月1日現在)